

森友学園・国有地処分問題での宮本岳志衆院議員の訴え(大要)

日本共産党の宮本岳志衆院議員が2月25日、大阪府豊中市・阪急庄内駅前で行った森友学園の国有地処分問題での演説(大要)を紹介します。

寒い中たくさんお集まりいただきありがとうございます。昨日も予算委員会で質問に立った日本共産党衆議院議員の宮本岳志です。

●質問でも野党共闘



この森友学園の国有地売却問題、私が国会で初めて取り上げました。2月15日に財務金融委員会が初めての質問でした。この初質問からまだ10日。この10日間に、わが党だけで

なく、民進党の方々も続々取り上げ、いわば質問でも野党共闘という形で安倍内閣を追い詰める。不明朗な国有地売却の問題を解明せよという世論と運動をつくりあげました。いよいよ闇に迫らなければなりません。

●隣地の10分の1 なぜか?

最初は、豊中市の市会議員団はじめ地元の皆さんからご相談があった。国有地というのは国民共有の財産です。これを処分するなら適正に処分して、国民のために役立てるのは当たり前。基本は、国有地の売却については、売った額はすべて明らかにするのは当たり前のことです。ところが、この森友学園の売買に関してだけは明らかになっていませんでした。

追及して額を明らかにさせると、あの土地が1億3400万円という豊中市が2010年に公園の用地として買い取った隣の土地に比べても10分の1以下。豊中市は、隣の土地を14億円で買い取っていたが、その隣の森友学園は1億3000万円。なぜそんなことになるのかと疑問を持つのは当たり前です。

財務省理財局の説明は、「不動産鑑定士に鑑定をさせたら土地の値段が9億5600万円。しかし、そこから地下に埋まっている埋設物、いろんなゴミが下に埋まっているのを取り除

く費用に8億2000万円もかかるから、それを差し引いて1億3400万円で売ることになった」という説明でした。

なぜ、地下の埋設物を取り除くのにそんな莫(ばく)大な額がかかるのか。元々この土地は、大阪伊丹空港の騒音対策のために取得された土地であり、大阪航空局という伊丹空港を管理するところを持っている国有地でした。そこで、この大阪航空局が計算したことになった。

詳しく調べると、この学校を建てる場所の面積の6割のところ、校舎を建てるのに杭を打たなければならない。杭を打つところは9.9mの地下まで、それ以外のところは3.8m土を取り去って、ゴミを全部取り除いて、1万9500トンを選び出して処理する。この総額が8億2000万円ということでした。この、1万9500トンをちゃんと運び出して処理したのかどうか。ダンプカーに換算して4000台になる。地元の方に聞いても、「ダンプカーがそんなに走った覚えがない」という。そんな大がかりな工事はやっていないことは明瞭です。

●ずさん極まる国有地処分

ところが、この「瑞穂の國記念小学院」の校長予定者、今は森友学園の幼稚園の園長、理事長(籠池泰典氏)が、ラジオ番組の単独インタビューに電話で応じて、「運動場の下なんかはやってない。やる必要がない。掘ってない」と明言しました。敷地の6割に運動場が入っているが、まったく「やってない」ことが明らかになりました。

国土交通省大阪航空局にその校舎の建っていないところの工事をやっていないとしたら一体いくらになるのかと聞いたら、3億6000万円と答弁しました。まず、3億6000万円が過大見積もりであることが確定しました。

8億2000万円のうち3億6000万円だから、まだ4億円あまりがあるが、それもきちんと工事をやったのかどうかはだれも分か

総選挙勝利近畿ブロックニュース

Tel 06(6975)9111 Fax06(6975)9115

部内資料【府県・地区・地方議員御中】

No. 7(2017. 2. 27)

りません。理財局にも、近畿財務局にも「確認したのか」と聞いても、「確認していない」、「確認する筋合いもない」との答弁です。1億3400万円で売ったあとは、買い取った森友学園が何をするかは「確認する必要がない」との国会答弁。あまりにもひどい。国民の財産である国有地の処分に対してずさん極まるものです。

●政治家の関与なしに起こりえない

念のために、文部科学大臣に学校をつくるのにそうしたものが埋まっている場合に、大阪航空局が計算したように、地中深くまで全部取らなければ、上に学校をできないのかと聞くと、文部科学大臣の答弁は「そういう基準はございません」「法的拘束力はありません」とはっきり答えました。だから、こうした土地でも小学校を建てられないわけではありません。この国有地売買は、なんら根拠のない大幅な値引きがされたことが事実であって、国民が納得できないことは当たり前のことです。

昨日（24日）のテレビ中継のあった衆議院予算委員会で、「こんな奇怪なことはふつうでは考えられない。こういうことが起こるのは、間違いなくそこに政治家が介在したに違いない」と提起しました。

●交渉記録を廃棄 明らかな隠蔽

私どもにも内部告発があった。近畿財務局と大阪航空局と地下埋設物の処理などをめぐって、様々な交渉を重ねてきたことが明らかになる資料を入手しました。近畿財務局は、これまで「話しあったことはない」と言ってきました。しかし間違いのない事実が出てきた。

昨日（24日）示したのは、2015年の9月4日、近畿財務局の9階の会議室で、近畿財務局の担当者、大阪航空局の担当者、森友学園側の設計事務所の担当者や建設会社の担当者が、午前10時から12時まで会議を行った。この事実をつかんだので、ただしました。「分からない」という答弁だったが、「調べろ」、「面会・交渉記録を全部出せ」と迫ると、驚くべきことに「そのような資料はすべて廃棄してごさいません」と答弁した。いつ廃棄したのか、と聞くと「昨年の6月20日」。つまり、森友学園に国有地の売買契約を締結したその日のうちに、そそくさとすべての書類を廃棄したと答弁しました。予算委員会場で「隠蔽ではないか」との怒りの声があがったが、当然のことです。

民進党の議員に対して安倍首相は、安倍昭恵

さんが名誉校長をお辞めになった、ホームページから安倍昭恵さんの言葉が削除されたことを「隠蔽ではないかと思った」と一言述べると、突然くっかかり「隠蔽とは何事か。謝罪せよ」という場面がありました。しかし私が暴露した事実、昨年度の6月20日にそれまでの面会記録や交渉記録のすべての資料を廃棄した、これは紛れもない隠蔽であって、これには一言も言葉を返すことはできませんでした。

安倍首相は、これからは「第三者機関である会計検査院が調査する」と胸をはっていますが、昨年6月20日に資料を廃棄したのであれば、検査のしようがない。しかし、「廃棄されている」の一言で済ます問題ではないし、南スーダンへの派遣自衛隊の日誌、「廃棄した」と言いながらあとから出てきた。昨日私は、電子データ、パソコンの記録も含めて全部出せと要求しました。

●「教育勅語」丸暗記—こんな教育許されぬ

また、設立を予定されているこの瑞穂の國記念小學院の教育内容も心配です。大阪府の私学審議会の議事録を見ても、財務内容が心配ということと同時に、“教育内容が心配である。幼稚園でやっていることを見ていたら、あれと同じ事をこの学校でやられたら、さらに問題がある”と先生方が指摘されている。

これも、国会で質問しましたが、幼稚園児に「教育勅語」を丸暗記させ暗唱させていることが有名になっている。文部科学省は、「教育勅語」を「そのまま子どもに教え込むというのは、やってはならないことである」と答弁しました。国会で、文部科学大臣が私の質問に答弁した。暗唱というのは、最初の一言一句「朕思フニ…」から始まって最後まで暗唱、覚えさせるわけだから、このような教育が今日の教育基本法、学校基本法のもとで許されないことは明瞭です。

私たちの子どもたちの教育に関わる問題なので、私学審議会はもちろんですが、最後に認可するのは松井大阪府知事ですから、大阪府はきちんと教育の中味についても、法令に基づいて正しい判断を下していただく、このことも強く求めなくてはなりません。

地元でも、この不明朗な国有地売却問題をしっかりと注目し、監視していくことが求められます。不明朗なことを国民は断じて許さないことを大きな世論にしていきたいと思います。また法律に照らして問題の多い教育がなされないようにしていきたいと思います。今後とも、みなさんのご尽力をよろしくお願いいたします。